

## 寅さん歩 その 18

### 東京の学食めぐり-6



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者から「学食めぐり」をテーマに取り上げて欲しいとの要望がありました。最近是一般の人も食べられる学食が増えていますので、新シリーズとして東京にある大学キャンパスの学食をめぐり・紹介します。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。食べたいメニューが複数あり、複数回、足を運ぶこともあります。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。

今回は寅次郎の住む北大塚からバスで直接行ける両大学の学食めぐりです。メニューや値段は訪問時のものです。

右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないように注意です。最寄り駅は代表例です。

#### 「東洋大学」 文京区白山 5-28-20 最寄り駅 三田線 白山駅

バス停「巣鴨駅前」まで約9分歩き、バスで約8分「東洋大学前」下車です。三田線白山駅からは学生の後をついて行くと南門から入ります。白山神社（あじさいの名所）の裏にあたります。明治20年(1887年)井上圓了によって創設された哲学の専修学校**私立哲学館が前身**とのこと。明治36年(1903年)哲学館大学、明治39年(1906年)東洋大学に改称。近年は大学駅伝の連覇で大学名がクローズアップされ、日本人初の100㍓を9秒台で走った桐生祥秀も現在4年生です。**学食ランキング**は日本一とのこと。バス停前の正門右側の緩い坂を上ると、井上圓了の像があります。後ろの建物は井上圓了記念博物館で入場は無料です。

銅像には「井上圓了先生は安政5年(1858年)越後国(新潟県)に生まれ、東京大学文学部哲学科を卒業、明治20年(1887年)東京本郷の麟祥院内に哲学館・現在の東洋大学を創設した。哲学館はすべての人々に教育の機会を開放した日本で唯一の哲学を中心とする学校であった。先生は日本人が「遠大にして活発な人間」

となることを目指し、学校教育における人材育成とともに家庭教育を重んじ、社会教育として全国を講演して歩くなど広範な教育事業活動に生涯を捧げられた」(以下略)と記載。



正門



井上圓了像 →

学食は井上記念博物館隣をエスカレーターで下りた6号館B2Fにあります。広いスペースに7種類のテナントコーナーがありました。寅次郎、東京食堂、オリエンタルキッチン、トロトロ半熟オムライス 550円(写真下左)を注文。写真下右は後日に食べた東京食堂 鉄鍋屋 チーズビビンバ鉄鍋焼セット 500円です。



写真左はカレー マントラのハーフ&ハーフ 500円。朱色のバターカレー(ランドリーチキン入り甘口)と緑色のサーグダール(ほうれん草とレンズ豆中辛)のカレー2種を6種の中から選択。

ナン(又はご飯)とサービスドリンクのラッシー(又はウーロン茶)が付きます。ラッシーはヨーグルトでインドカレーにぴったりの飲み物とのこと。美味しい味でした。

3号館 B1F には麺匠 シマダヤ があり、塩ラーメン 400 円をいただきました。



8号館(正門前)B1F にも学食 伝説の三丁目食堂 があります。

郷土グルメ(12月は大分風 鶏天、秋田風 きりたんぼ鍋)や日替り定食、麺類などのメニューがありました。写真右は日替り定食の鯖竜田揚げポン酢味 500 円です。小鉢は 1 種を選べます。いずれも平日の営業時間は 10 時~20 時です。



この他に同じ 8 号館 1F にはレストラン、4 号館 B1F にはカフェがありました。2 号館 16F にあったスエヒロは現在、営業していません。さすが「学食ランキング日本一」なので、近くの行きつけの食堂として愛用したいです。食べる大学グッズは見つかりませんでした。

**[拓殖大学]** 文京区小日向 3-4-14

最寄駅 丸の内線 茗荷谷駅

大塚駅前からバスで約 10 分、茗荷谷駅前下車、大学は駅の裏の道を右折すると左へ約 120m の看板があります。

明治33年(1900年)台湾の開拓を実施するための人材を育成する教育機関として開校したとのこと。

初代学長は桂太郎(長州藩出身の軍人・政治家で総理大臣を経験)拓殖とは未開の地を開拓、そこに移り住むことの意。初年度は校舎を持たず和仏法律学校(現在の法政大学)の一部を借用し、明治34年(1901年)現在地に移転。大正7年(1918年)拓殖大学に改称。正門(写真下左)を入ると、右手はA館(本部棟)(写真下右)です。



A館の前左側に創立者 桂太郎の像(写真下左)があります。その先のB館(写真下右)の左側の階段を下りた B1Fに明るく広いスペースの学食がありました。平日の営業時間は8時~20時で朝食も食べられます。



拓大橙丼 420円を注文。酢飯の上に錦糸卵とサーモン(橙色)が乗っていました。スクールカラーはこの地が紅葉の名所だったので紅葉色だそうですが、伝統的に橙色も併用とのことでした。

箱根駅伝の応援のぼりや選手のユニフォームは橙色です。  
ラーメンやソバ類は 200 円台でした。



拓大橙丼

食堂内には「学生食堂を利用の近隣の皆様へ 11時30分～  
13時は学内関係者のみ」との掲示がありました。  
食べる大学グッズは見つかりませんでした。

学食の営業時間は平日のみを記載していますが、ほとんどの学食は土曜日にも営業しています。但し終了時間が数時間早まり、一部メニューの変更がある場合があります。

今回は 東京の学食めぐり-7 です。

平野 寅次郎 拝